

審査の結果の要旨

氏名 渡邊 浩司

本論文は、都市計画道路長期未着手の発生/損失メカニズムを明確化し、人口減少時代の将来都市構造実現に向けた時間管理のあり方を示したものである。マスタープラン・計画・事業といった都市計画の3段階の流れについて時間管理ができていないことが都市計画道路事業の長期未着手発生の要因となっているという観点から、長期未着手問題の解決と今後の都市計画制度の一助とすることを目的としている点に大きな特徴がある。

人口減少局面における将来都市構造の変化に伴う積極的なパラダイム転換が必要という視点から、都市計画道路の見直しを将来都市構造実現のための積極的な時間管理手法の一つと捉え直し、将来都市構造実現に向けた都市計画道路の時間管理のあり方について提案している点に大きな新規性がある。具体的には、長期未着手都市計画道路の発生要因として、1)先行的かつ大規模な計画決定がなされていたこと、2)整備そのものが進まなかったこと、3)適切な時間管理が行われなかったことの3つの要素をその原因として抽出した上で、見直しのトリガー・インセンティブや計画廃止概念、空間的戦略の不在がその原因であることを明らかにしている。特に優先順位判断と計画見直しが連動しないまま見直しにより計画を廃止するとともに選択と集中により戦略的に事業化を進めるシステムが存在しなかったことが長期未着手の原因であったことを示したことは大きな成果といえよう。

次に代表的な都市計画道路未着手に関する訴訟事例を分析し、計画論的問題点として「計画の未実現」、「計画の正当性」、「受忍の限度」の3つがあること、さらに「ニーズへの未対応による社会的損失」、「ニーズと計画の乖離による社会的損失」、「建築制限の長期化による個人的損失」の3つの損失があることを示した。その上で、計画決定からある期間経過後に整備した場合と、決定直後に整備した場合とで、社会的な便益や費用、個人収入等の比較を行うことにより、時間軸での損失の変化分析を行った。未着手期間の長期化に伴い損失が加速度的に増加すること、未着手期間の長期化に伴い交通量が予測を下回ることにより損失が大きくなること、未着手期間の長期化に伴い地価が上昇する場合には損失は減少し便益が発生する場合もあるが地価が下落する場合には加速度的に損失が増加することなどを数値計算により明らかにしたことは大きな成果といえよう。

最後に長期未着手への対応策について、計画見直し、早期整備、制限緩和、代償措置、整備見直し明示の5つの解決方策に分類し、人口減少時代に対応し

た将来都市構造実現に向けた都市計画道路の時間管理システムの考え方として、調査の充実、マスタープランの見直しによる将来都市像の明確化、都市計画の総体・定期見直し、プログラム策定や建築制限の時間管理等による戦略的整備、実現後の機能発揮等に関する都市施設のマネジメントを提案した。

現実の都市の比較分析を行い、将来都市構造の実現に向けた時間管理の先進的な取り組みを行った事例が仙台市であることを明らかにした。この理由として地下鉄東西線の整備に向け積極的にビジョン指向型の取り組みをしており交通や土地利用を一体的に考える意識が高い、都市圏パーソントリップ調査によりデータ把握や広域の将来像の提示ができていたことを指摘した。仙台市の取り組みについては、将来像の提示、土地利用や交通施策との連携、評価指標の導入、客観的データに基づく分析、評価結果や理由の具体的公表、整備優先度と組み合わせた53条制限の導入など、運用指針を先取りし、将来都市構造実現に向けた時間管理に取り組んだものとして評価できる一方、定期見直しや整備プログラムの位置づけ、評価指標の有効性担保、総合評価の判断基準明確化等が不十分といった問題点があることも示した。こうした事例をふまえ、今後の将来都市構造実現のための都市計画の時間管理として、線引き制度に代わる縮退型の公共投資プログラムとして「市街地整備総合マネジメント戦略」を導入し、都市施設の整備だけでなく機能のマネジメントを行っていくことが必要であること、実現手法として、都市計画道路の機能を都市計画決定として位置付けて担保し、都市計画事業として都市計画税を導入して整備する仕組みが必要であることを提案した。

審査会では、非完結型都市計画手法としてみた場合の政策展開や、都市計画公園における協定制度の活用に対する指摘があったものの、整備とも廃止とも異なる出口や施工予定者制度などについて考察も十分行われており、人口減少時代の都市計画手法として時間管理のあり方に焦点をあて、訴訟事例分析とマスタープラン事例分析を丁寧に積み上げることで、都市計画制度における時間管理の今後の在り方を示した本論文の学術的な価値は高い。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。